

# みんなの学校

— 上映会・インクルーシブ教育を考える講演会 —



© 関西テレビ放送

障害者権利条約に関する国連による日本審査が2022年8月に、そして9月には総括所見が公表されました。教育分野においてはインクルーシブ教育の状況（と理解）への指摘、文部科学省通知（4月27日）について言及があり、地域で大切にしてきた教育が後退する懸念が改めて示されています。「みんなの学校」（映画）、そして講演会を通じてインクルーシブ教育を推進してきた地域の事例から「共に学ぶ教育」とは何かを一緒に考えていきましょう！

**4/15** S  
A  
T  
開場 9:20

上映会

10:00~12:00  
(上映時間 106分)

講演会

13:15~16:15

入場料無料  
先着900名  
※満席になり次第締切り



場所：高槻城公園芸術文化劇場トリシマホール  
(大阪府高槻市野見町 6-8)

イベント：「たかつき〇まるしえ」もあるよ！  
(高槻市内にある障がい福祉事業所で製造した自主製品の販売)

## ■ お問い合わせ先

TEL ☎：090-4284-9533  
担当：高槻事業連絡会 平田(ヒラタ)

## ■ ご確認ください

※映画「みんなの学校」はバリアフリー版日本語字幕付き上映となります。  
※車いす / 手話通訳 / 要約筆記等サポートがあると安心な方  
事前にご連絡お願い致します。  
※当日は先着順となり事前予約は受け付けておりませんので  
予めご了承ください。

## 第2部「インクルーシブ教育を考える講演会」

### 講師紹介



#### 木村泰子氏 「いつもいっしょがあたりまえ」

大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。この映画は文部科学省の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地の教育現場などで自主上映されている。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合っている。



#### 一木玲子氏

「障害者権利条約 国連審査を読み解く

日本に課せられた課題」

東洋大学人間科学総合研究所客員研究員。1968年京都府生まれ。大学時代から障害のある人の介助など自立生活を共にする中で、分離教育制度の差別性に気づき、インクルーシブ教育研究の道へ。共著に『分けないから普通学級のない学校——カナダBC州のインクルーシブ教育』（アドバンテージサーバー、2014年）などがある。



#### 佐々木サミュエルズ純子氏

「地域と子どもたちが教えてくれたこと」

大阪府在住。中学生二人の母。90年代から英国で暮らしていたが、縁あって結婚した夫のたつての希望で日本に移住。移住して間もなく長男を妊娠・出産。わくわく育ちあいの会代表（旧・インクルーシブ教育をすすめる会）。子育てと仕事に奮闘する毎日で趣味がないのが悩み。会の定例会や地域の保護者のボランティア活動などで人に来て癒されている。『子どもたちは多様ななかで学びあう』（アイエス・エヌ出版）著者。

#### ■主催：高槻事業所連絡会

後援：高槻市、高槻市社会福祉協議会  
助成：令和5年大阪府地域福祉振興助成金（申請中）

#### ■製作：関西テレビ放送 配給：東風

第1部「みんなの学校」  
情報掲載。  
ご参加に関するアンケートに  
ご協力お願いいたします。

